

レンジフード取付説明書

取扱説明書・取付説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。

安全上のご注意

- 取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取扱いを安全と生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- ▲ **警告:** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- ▲ **注意:** 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

◎ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。

◎ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取付けは販売店にご相談ください
- 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口 (給気口) により十分給気される配座をすること
排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法 (同施行令) および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードは、薄板の金属部 (壁内ラス網など) と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります

注意

- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください
- レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

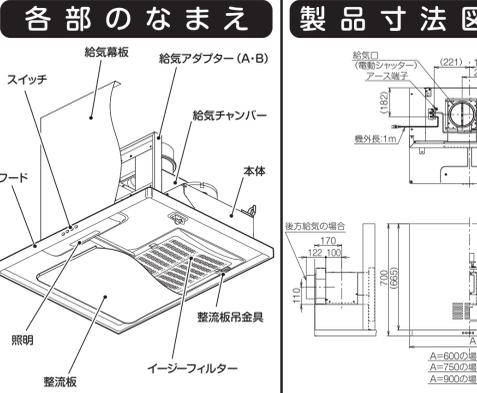
注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすることがあります
- レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下によりけがをすることがあります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります
- 接触禁止
- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
- 手袋をする
- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと (浴室用換気扇をお使いください)
- 感電および故障の原因になります

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。
 - 大工工事 (設置のための下地工事等)
 - 配線工事 (コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
 - 管工事 (ダクト配管やレンジフードからのダクト接続等)
 流通業者 (販売店) を通じて組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率低下します。
- 汚れを除去する際にはシンナー等の有機溶剤を使用しないでください。塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプの通気抵抗は400m²/h時50Pa以下のものをご使用ください。
防虫網付きのものも目詰まりして排気性能が低下する場合がありますので使用しないでください。
- ダクトの不燃処理について
 - ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣承認品の不燃材料で被覆してください。
 - 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」「検査要領書」に従ってください。
- レンジフードは調理機器の真上に取付けてください。
なお、レンジフードの下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
- 設置仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で料理される場合は、油煙が捕集されませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に曲ったダクトは排気効率をいじり下げておかないでください。騒音が大きくなりやすくなります。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。
また、横方向50cm以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱の原因になります。
- 建物が密閉されている場合は、約400m²程度の換気量を確保してください。
また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。
- ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を付けてください。
(目安:勾配1/100~1/50程度)
雨水の浸入や結露水の逆流の原因となります。



取り付け前の調査と準備

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- レンジフードは、薄板の金属部 (壁内ラス網など) と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください
- 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

注意

- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けないこと
火災・故障の原因になります

注意

- レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと
落下により、けがをすることがあります
壁板が薄く弱いと振動音が発生するおそれがあります

付属品の確認

1. 取付面の強度確認……製品を支える強さが必要です。

2. 別売品の準備
排気工事に伴った別売品の準備が事前に必要です。

3. 標準取付寸法
本製品の標準取付寸法は調理機器の上からレンジフードの下端まで80cmです。
※別売品例として、グリスフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上必要となります。

4. 電源コンセント・ブレーカー
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V)
コンセントは、JIS C 8303 2極差込接続器 (15A/125V) をご使用ください。

● 600幅 製品質量 17.5kg
● 750幅 製品質量 18.5kg
● 900幅 製品質量 19.5kg

● 取付けの際は、必ずアース (D種接地工事) をしてください。レンジフードが誤動作することがあります。

1. 付属品の確認

注意

- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

● 取付け作業の際はキズ・破損のないよう十分注意してください。

● 保護用のクッション材は「2. フードの準備」において整流板をはずす際に一度ははずしてください。その後は再び取り付け、「8. 給気幕板の取り付け」まで、はずさないでください。

● 床で作業する場合は、フード及び床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。

2. フードの準備

1 整流板をはずします。

- ① 整流板の左右を両手で支え、少し押し上げます。
- ② 左右のストッパーを押し込みながらゆっくりと10cm程度おとした状態で、整流板の後ろを持ち上げ、整流板用金具からはずして手前へ取りはずします。

● ストッパーを奥まで押す

● 少し押し上げる

2 ハーフカットを打ち抜きます。

フードの給気幕板取付用穴 (ハーフカット) にフード上面よりドリラーの先端を当て、ハンマー等で軽くたたいて打ち抜きます。

● 横幕板取付穴 (ハーフカット) は打ち抜かなくてください。

● 別売品の横幕板を取り付ける場合は、横幕板と同様の取付書をお読みください。

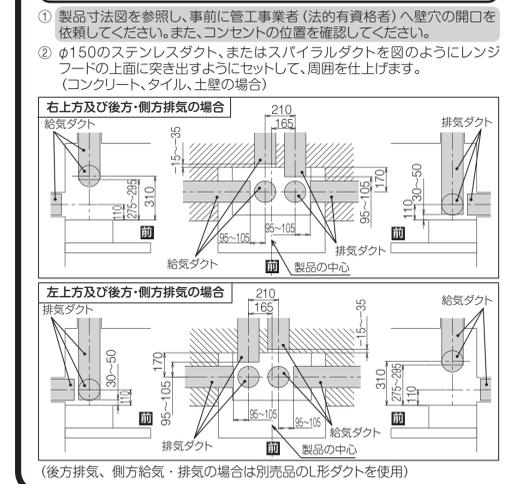
3. 排気方向の決定

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法 (同施行令) および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
火災などの原因になります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください

注意

- 製品寸法図を参照し、事前に管工事業者 (法的有資格者) が壁穴の開孔を依頼してください。また、コンセントの位置を確認してください。
- φ150のステンレスダクト、またはスパイラルダクトを壁の開口部に差し込んで、周囲を仕上ります。(コンクリート、タイル、土壁の場合)



4. 給・排気用部品の準備

■ 上方給気・排気の場合

- ① 給気口と排気口にソフトテープを貼り付けます。
- ② 給気口を壁に固定し、コネクターが向かって右側になるように給気チャンパー上面に取り付け、付属の取付ねじ (M4×8) 4本で締め付けて固定します。
- ③ 給気口を取り付けた給気チャンパーを付属の取付ねじ (M4×8) 4本で本体上面に取り付けます。
- ④ 排気口を本体上面の差込部に差し込み、取付ねじ2本で取り付けます。(取付ねじは、あらかじめ本体上面の排気口取付部に取り付けてあります)

■ 後方及び側方給気・排気の場合

給気方向の変更 (後方給気の場合)

- ① 給気口にソフトテープを貼り付けます。
- ② 給気チャンパー後面に取り付けてある取付ねじ4本をはずし、ふさぎ板をはずします。
- ③ ふさぎ板の位置を給気チャンパーの上面に変えて、②ではずした取付ねじ4本にて締め付けます。
- ④ 給気口を壁に固定し、コネクターが向かって右側になるように給気チャンパー後面に取り付け、付属の取付ねじ (M4×8) 4本で締め付けて固定します。(取付ねじは、あらかじめ本体上面の排気口取付部に取り付けてあります)

給気方向の変更 (側方給気の場合)

(別売品のL形ダクトを使用します)

- ① 給気口にソフトテープを貼り付けます。
- ② 給気チャンパーL形ダクトを付属の取付ねじ (M4×8) 4本にて取り付けます。
- ③ L形ダクトに給気口を取り付けます。給気口はL形ダクトに付属の取付ねじ4本にて取り付けます。(本体への取付けは後でおこないます)

排気方向の変更 (後方・側方排気の場合)

(別売品のL形ダクトを使用します)

- ① 排気口にソフトテープを貼り付けます。
- ② L形ダクトに排気口を取り付けます。排気口はL形ダクトに付属の取付ねじ4本にて取り付けます。(本体への取付けは後でおこないます)

給気アダプターの取付け

■ 給気アダプターの取付け
接続した給気アダプターを、付属の取付ねじ (M4×8) 4本にて給気チャンパーに取り付けます。

● 取付けは上方給気・排気の場合の例です。

■ 左排気の場合
取付ねじ (M4×8)

■ 右排気の場合
取付ねじ (M4×8)

5. 本体の取付け

- 1 製品寸法図を参照して、だるま穴用座付ねじブラック2本をねじ込みます。
だるま穴用座付ねじ (左右各1ヶ所) に座付ねじブラック (φ5.1×45) を壁面とのすきま5mmまで締め付けます。
- 2 本体を取り付けます。
① 1で取り付けただるま穴用座付ねじブラックに本体を引掛けたあと、しっかりと締め付けます。

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

6. ダクトと給・排気用部品の接続

給・排気口設置面の漏れ確認のお願い

給・排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの給・排気口を接続しようとすると、給・排気口と給・排気口の設置面 (本体上面等) が変形し、給・排気漏れが発生してしまう場合があります。給・排気漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転 (強運転) を行ってください。漏風する場合は、給・排気口と設置面の周りをアルミテープ等 (現地手配) で漏風防止処置をおこなってください。

給・排気口とダクトの接続

給気口、排気口、ダクト、アルミテープ

後方・側方給気、後方・側方排気の場合

- ① 排気口を取り付けたL形ダクトを、本体上面の差込部に差し込みながら排気口をダクトに挿入し、取付ねじ2本で取り付けます。(取付ねじは、あらかじめ本体上面のL形ダクト取付部に取り付けてあります)
- ② 給気口を取り付けた給気チャンパーをダクトに挿入してから付属の取付ねじ (M4×8) 4本で給気チャンパーを本体上面に取り付けます。
- ③ 風漏れ防止のテーピング (アルミテープ等) をおこないます。

給気口のコンネクター接続部に信号線の3Pコネクターを接続します。

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

7. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取付けは販売店にご相談ください
- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります

注意

- 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

8. 給気幕板の取り付け

給気幕板を取り付けます。

- 1 幕板固定金具を取り付けます。
幕板を取り付ける前に、付属品の幕板固定金具を幕板に合わせた付属品の木ねじ (φ4.1×16) 2本で取り付けます。幕板固定金具は両側の壁面もしくは吊り戸棚に取り付けます。
- 2 給気幕板に固定ばねを取り付けます。
給気幕板に固定ばねを差し込み (左右各1ヶ所)、取付ねじ (M4×10) 2本を締め付けて固定します。
- 3 給気幕板を取り付けます。
① 幕板固定金具の穴に給気幕板上部に取り付けた固定ばねの先端を差し込み奥までしっかりと押し込みます。
② フード内面から給気幕板下部左右各1ヶ所を取付ねじ (M4×10) で固定します。

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

9. 組み立て

注意

- 整流板を取り付ける前に、イージーフィルターとベルマウスを固定しているテープをはがしてください。部品の取りはずし方は取扱説明書を参照してください。

- 1 整流板の左右を両手で支え、引掛部を整流板用金具に引掛けます。
- 2 整流板をゆっくり持ち上げてパチンと音がするまで押し込んでください。
- 3 整流板を軽く上下に動かしてみても確実に取り付けたことを確認してください。

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

● 取付けの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

10. 試運転

注意

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気量についてご確認ください。
- 異音・振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 取付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。

11. お客様への説明

● 取扱説明書によって機器の取付け方を説明してください。

● 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

製造元: -FUJIOH- 富士工業株式会社
〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号
TEL 042 (768) 3754 (営業部)

横幕板：取付補足説明書

本書は横幕板を取り付ける場合にお読みください。

※横幕板を取り付けない場合は、本書及び取付ねじは廃棄してください。

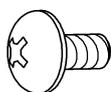
本レンジフードに横幕板を取り付ける際は、横幕板に付属の取付ねじ（シルバー）を使用せず、本書に付属の取付ねじ（ブラック）を使用してください。

※取付ねじは横幕板 1 枚に 2 本使用します。

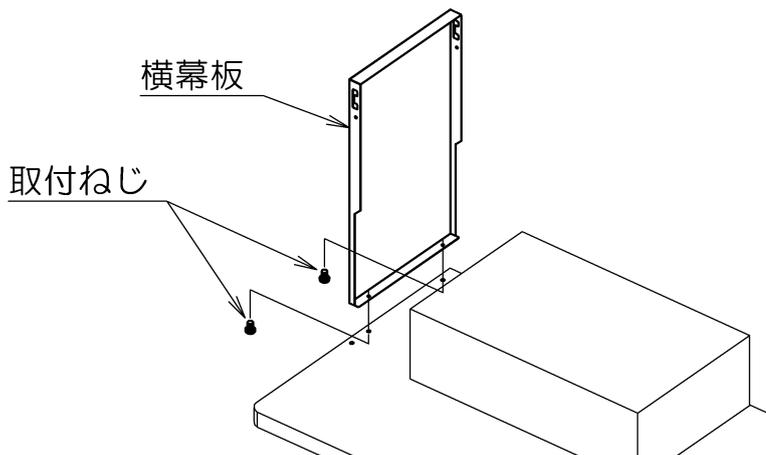
余った取付ねじと横幕板に付属の取付ねじは廃棄してください。

横幕板の取り付けは横幕板の「取付説明書」をお読みのうえ、正しく取り付けてください。

付属品



取付ねじ（M4×10）ブラック
4 本



1303 T681

横幕板：取付補足説明書

本書は横幕板を取り付ける場合にお読みください。

※横幕板を取り付けない場合は、本書及び取付ねじは廃棄してください。

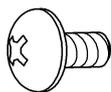
本レンジフードに横幕板を取り付ける際は、横幕板に付属の取付ねじ（シルバー）を使用せず、本書に付属の取付ねじ（ブラック）を使用してください。

※取付ねじは横幕板 1 枚に 2 本使用します。

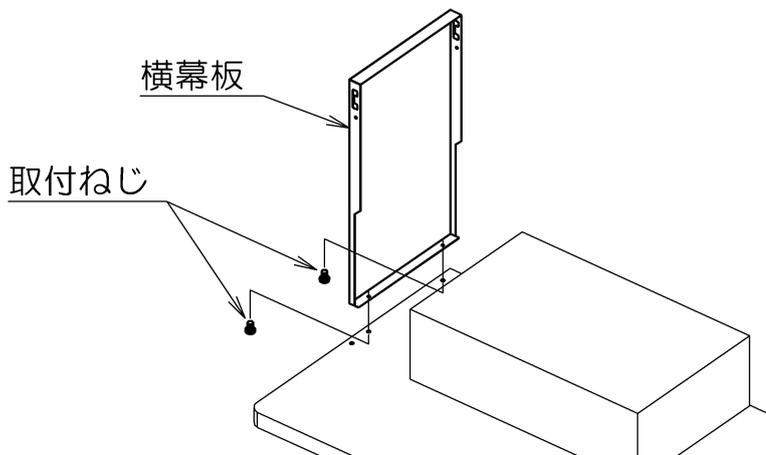
余った取付ねじと横幕板に付属の取付ねじは廃棄してください。

横幕板の取り付けは横幕板の「取付説明書」をお読みのうえ、正しく取り付けてください。

付属品



取付ねじ（M4×10）ブラック
4 本



1303 T681